

令和4年度 第2回 井田川小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年6月8日（水）13：10～14：50

2 場 所 討議（多目的室）、授業参観（音楽室及び各教室）

3 あいさつ（委員長，学校長より）

- ・ 委員長より 児童には豊かに健やかに育てほしい。ご協力をお願いしたい。
- ・ 学校長より 地域の皆様には除草作業でもお世話になり、大変感謝している。様々なご協力のもと、教育活動を進めていきたい。

4 授業参観

児童集会（リモート）音楽室から配信する様子と各教室で視聴する様子を見学

- ・ 委員会からの報告（美化・環境委員会，給食委員会，保健委員会）
- ・ 児童会の生活目標の振り返り

質疑・感想

- ・ 児童はリモート集会に慣れてきている様子が伺えた。教室は自由な反応であった。もっと形式ばらずに発表してもよいのではないか。発表内容は自分達で考えているのか？
→ 準備期間の少ない中であつたため、教師の指導も入っている。
- ・ 児童会の役員の始めの挨拶もしっかり考えた内容であった。リモート集会を時間通りに始めていて驚いた。
- ・ 発表する児童は、ふだんとは違う姿を見せていた。責任を持たせて役割を与えて活動させることは大事であると感じた。
- ・ 高学年になるにつれて、とても静かに視聴していた。ユーモアもあり、退屈しない内容であり、子どもたちを惹きつけていた。
- ・ 美化・環境委員会の児童が、のびのびして発表していた。
- ・ 掃除ロッカーが整頓された学年をみんなで称え、拍手が生まれていてよかった。

5 協議内容

(1) 学校の取組（ノーメディアデー，働き方改革）について

① ノーメディアデーについて

- ・ 1日平均60分間のスクリーンタイムは少ない方ではないか。自分が子供の頃は、もっとテレビを見ていた。本校のスクリーンタイムが多いのか少ないのかが分からないため、比較対象として市や県の平均時間が知りたい。
→ 市や県の1日あたりのスクリーンタイムの平均時間は把握していません。

- ・ 難しいことではあると思うが、食事中はスマホなどは切って食事をしていけるとよい。

② 働き方改革について

- ・ 先生方は給食を3分間で食べていると聞いた。先生方が、給食をゆっくり食べられる環境を作っていただきたい。
 - 給食の時間を浮かせて、連絡帳を確認したり、添削をしたりしているのが現状です。教師の健康のためにも、子どもたちの見本となるためにも、よく噛んで食べられるようにしていきたいです。
- ・ 時間外労働は数字では減ってきているが、先生方は体感的にその感覚があるのか？
 - 減ってはきていますが、抜本的には変わっていません。スクール・サポート・スタッフが週に7時間入り、教師の印刷や掲示などの業務を請け負っています。コロナ禍で水泳指導や運動会の組体操等がなくなり、行事の精選は進みました。学校が落ち着いており、以前に比べて放課後の生徒指導対応に多くの時間がかかっていないことは大きいです。
- ・ 以前と比べると、18:30頃には教室の照明が消えている教室が多くなった。
- ・ 先生方も早く帰宅して、家庭でのふれあいを大事にしていきたい。

(2) 地域連携を取り入れた学習について

- ・ 井田川の歴史に取り組んでいただいているが、井田川は東海道の庄野宿や亀山市の関宿のような宿場町ではなく、東海道ではあるが、人が通り過ぎている場所であった。しかし、古墳もあり、古くから人が住み着いていた場所である。「わたしたちのまちは、こんな町です。」と誇りをもって言える子に育てたい。昨年度は、マイタウン井田川まちづくり委員会で、弘法井戸を整備したが、今年度は小田町の地蔵堂も取り上げていきたい。東海道を歩いている人もいるため、PRしていきたいと考えている。
- ・ まちたんけんを行っているようだが、井田川地区に引っ越してきた家庭もあるため、井田川にはこんな場所があると紹介していただけるとありがたい。親子で訪ねてみようと思う。
- ・ 4年生で井田川地区の水害を学習するが、井田川地区で防災マニュアルを作成しているので、子どもたちにも紹介してもらおうとよい。また、高齢者の認知症についても学習していただくとよいと思う。これから高齢者は増えていく。井田川地区市民センターに認知症サポーターの冊子が置いてあるので、参考にしていきたい。認知症の予備知識を子どもたちが学習しておく、徘徊している認知症の老人を通報するなどの対応できる。消防団とも連携していく必要があると考えている。
- ・ 井田川地区の歴史については、伊藤俊一さん（郷土史家）の本を参考にするとよい。

(3) 鈴鹿市制80周年記念レガシー事業について

- ・ かぶとむしのいるまちづくりはどうか。
- ・ 学校の校庭の除草のためにやぎを飼育するという案については、やぎを飼うのは難しいと思う。過去に山に除草剤を撒けないため、やぎを飼ったことがあるが、やぎにも草の好き嫌いがあり、食べない草がある。簡単にはいかない。
- ・ 地域の祭りに参加するのもよい。10月15日(土)にフェスティバルを計画している。

(4) その他

- ・ 放課後や休日の児童の自転車の運転マナーがよくない。二人乗りやヘルメットをかぶらない児童がいる。放課後児童クラブ 井田川っ子の前の三叉路の場所での自転車の飛び出しが気にかかる。
- ・ ヘルメットを必ず被る指導を再度学校でお願いしたい。ヘルメットをかぶっているおかげで命が助かった事例がある。
- ・ テクノタウンおだでも、見通しの悪いT字路があるので、気をつけさせたい。

6 教育委員会より

- ・ 新型コロナウイルス感染症がかなり落ち着いてきた。体育館でどれくらいのソーシャルディスタンスの間隔がとれるかを確認してみて、十分間隔がとれるのであれば対面での集会も可能ではないか。全体で集まる経験も年に1度は必要である。
- ・ まちづくり協議会との連携で、こいのぼりの製作があった。まちのシンボルとして活用できる。井田川地区の地域学習も、地域とうまく連携できればとてもよい。「井田川つながるた」は、自分のまちのことを扱っていて、とてもよい。
- ・ ノーメディアデーについては、地域についての調べ学習を行ってはどうか。土日に親子でまちのことを散策すると、それだけで1時間の学習時間となる。クロームブックを使って、楽しく調べ学習をしてほしい。
- ・ 小中連携は地域の宝である。幼稚園・小学校・中学校の連携でいうと10年間の連携となる。白鳥中学校区の取組をそろえて行うのは、よいことである。きょうだい関係があるため、兄弟がテスト期間中で試験勉強をしており、弟妹がゲームばかりしているようでは環境がよくない。父母も協力してその期間はテレビや携帯を見ないようにするとさらによい。
- ・ 地区補導を行っているが、自転車事故が多発している。ヘルメットをかぶり、一時停止するよう呼びかけてほしい。